

断熱ドレンホース DSH
性能試験報告書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

目次	ページ
1. 引抜試験	3
2. 可とう性試験	4
3. 屈曲性試験	5

1. 引抜試験

(1) 試料

断熱ドレンホース DSH-14,DSH-20N,DSH-25N の各サイズ、およびカフス
またはジョイント

(2) 試験方法

断熱ドレンホースと関連部材を塩ビ系接着剤で接着し、24Hr 放置した後、図-1
の様に試験を行った。(試験温度 20℃)

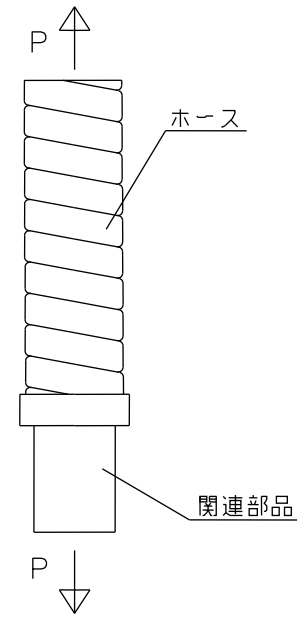


図-1 引抜試験

(3) 試験結果

結果を 表-1 に示します。

表-1

サンプル名	許容引抜き強度
DSH-14、DSH-20N、DSH-25N	15kgf

2. 可とう性試験

(1) 試料

断熱ドレンホース DSH-14

断熱ドレンホース DSH-14 + 直線ジョイント

(2) 試験方法

- ・ 試料と試験装置を試験温度に2時間以上放置し、試料を装置に取り付ける。
- ・ 図-2-1、の様に①の状態から90°屈曲させ、②の状態では1分間保った後、①の状態に戻し、③の状態に90°屈曲させ5分間待つ。
- ・ ③の状態を保ち、両端の直線部が鉛直から45°になる様に傾け、ホース内にゲージを初速度無しで落下させた時、試料の異常及びゲージの通過を確認する。
- ・ 試験温度は、-15℃及び20℃とする。

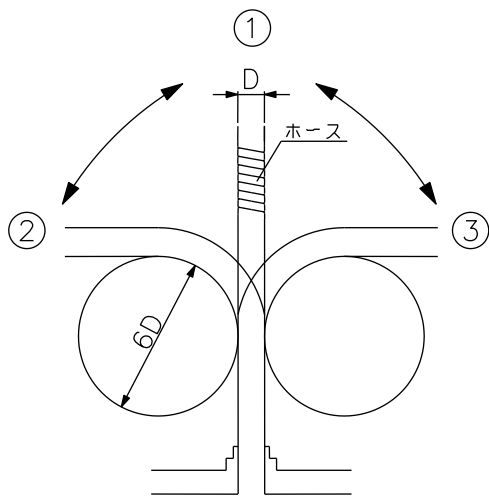


図-2-1

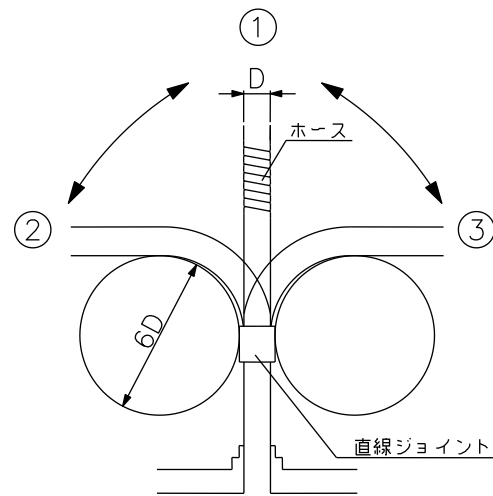


図-2-2

(3) 試験結果

試験結果を 表-2 に示します。

表-2

	-15℃		20℃	
	異常の有無	ゲージの通過	異常の有無	ゲージの通過
DSH-14	無し	通過	無し	通過
DSH-14+直線ジョイント	無し	通過	無し	通過

3. 屈曲性試験

(1) 試料

断熱ドレンホース DSH-14

(2) 試験方法

- ・ 図-3 の様に、左右交互に 90°の角度で 50 回/min の速度で、100 回屈曲させホースの異常を調べる。
- ・ 尚、①-②-③で 1 回、①-③-①で 1 回とする。
- ・ 試験温度は 20℃とする。

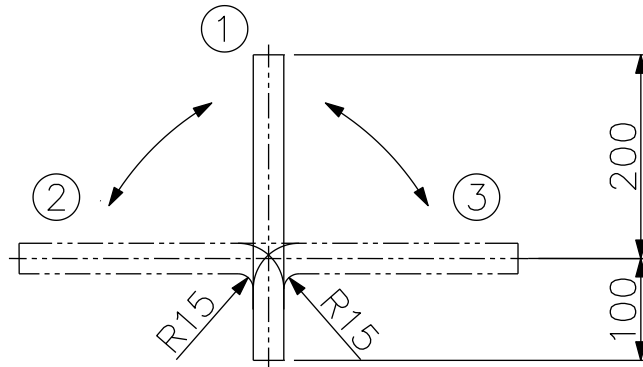


図-3 屈曲性試験

(3) 試験結果

ホースの異常（割れ及び座屈）は認められなかった。

以上